

会議録

- 議事内容 2024年度 12月定例教育委員会
- 日時 令和6年12月18日(水) 10:00~12:15
- 場所 4階会議室4-1
- 出席者 教育長 小西 博泰
教育委員 河嶋栄里子・藤本真理・石原友紀・酒井秀彦
事務局 入江教育管理部長・藤井教育指導部長
松田教育総務課長・市橋いきいき社会創造課長
竹内スポーツ振興課長・教育総務課 小畑

■ [会議の内容]

- 1 開会あいさつ
・教育長
- 2 前回議事録確認
(全委員一致で承認)

3 報告事項

- ・令和6年度主要事業の進捗状況の説明及び教育委員からの意見聴取

■ [学校教育課関連]

①第Ⅲ期教育振興計画の具現化【教育課程管理】

(進捗状況)

- ・11月14日、学力向上推進委員会を実施し、質問肢と結果のクロス集計や経年変化等を見ながら議論している。
- ・到達度テストについては、12月9日に中学校で、17日・18日に小学校で実施している。

(今後の予定)

- ・新たな幼稚園の取組として、12月23日に講師を招き、幼稚園の魅力づくりについて研修会を実施する予定である。
- ・1月8日の人権教育研究大会に向けて、準備を進めている。

②「チーム学校」を踏まえた学校組織マネジメントの強化とリスクマネジメント【危機管理】

(進捗状況)

- ・次年度に向けた教育課程の研究と組織的な対応については、「チーム担任制」「40分授業」等の研究を進めている。
- ・いじめ重大事態の対応については、弁護士・学識経験者・臨床心理士を決定し、調査委員会に向けて日程調整を進めている。

③人材育成と働き方改革【人的管理】

(進捗状況)

- ・教職員組合からの要望を伝えるため、連合北播と市長が面談を行っている。
- ・令和7年度の人事異動に向けて、希望調書を収集している。また、12月24日から26日の間で、全校長と面談を実施する予定である。

④学校教育課情報

1 市の取組

- 12月 3日 連合北播 ゆたかな教育の創造をめざす北播地区会議
- 12月 9日 到達度テスト(中学校:5教科国算社理英)
- 12月17日・18日 到達度テスト(小学校:4教科国算社理)
- 1月 8日 人権教育研究大会(小野南中)

【議会行政視察対応】

- 12月23日 伊丹市教育委員会
- 1月23日 長岡京市教育委員会(京都府)
- 1月27日 山武市議会(千葉県)
- 1月31日 白河市議会(福島県)

2 学校の取組

- 12月17日 小野特 自主研究発表会
- 12月23日 わか松・小野東幼稚園 新たな幼稚園魅力づくり研修会
※講師:学校法人 七松学園七松幼稚園
理事長・園長 亀山秀郎 氏(学校教育学 博士)

3 学校の状況等

- 11月 4号報告 7件
- 11月の不登校の状況 ()内は前年数値
小学校21名(22名)、中学校79名(89名) 合計100名(111名)
- いじめ重大事態疑い(1号) 1件

いじめ重大事態疑いについては、現在、対応中である。

4号報告については、1学期と比較すると、2学期は件数も少なく軽微な案件ばかりで、大きな問題には繋がっていない。

不登校については、不登校数や校内サポートルームの利用者数の増加はないが、校内サポートルームがあることで、登校に安心感を持ち、続けて学校に来ている子どもが増えていると報告を受けている。

■【説明事項に対する教育委員からの照会及び意見】

**Q : 幼稚園の研修会の講師が理事長をされている「七松幼稚園」は、どこにあるのか。
(教育長)**

A : 尼崎市にある。幼稚園だけでなく、こども園や発達支援・特別支援教育の部署を持っており、様々な取組をされている。新幼稚園の築山は、この七松幼稚園を参考にしており、芝生についても同園の亀山理事長から助言をいただいた。(事務局)

Q : 新幼稚園について、一般の方々の周知度はどうなのか。新幼稚園の魅力やメリットを皆に伝えていくことが大事だと思っている。(教育委員)

A : 新幼稚園の情報については、広報で特集を組んだり、市のホームページでPRしたりしているが、若い世代の保護者には、インスタグラムやTikTok等の方が響くのではないかと考えている。しかし、子どもたちの肖像権の問題も出てくるため、配慮も必要であるが、今後はSNSを活用し、PRしていくことも視野に入れている。また、指導要領の範疇(はんちゅう)で、カリキュラムの特色を出すために、先生方の発想を引き出せるような研修も行っている。(事務局)

Q : 幼稚園と保育園の先生方において、合同で行っている研修会や交流会等はあるのか。(教育委員)

A : 交流会は行っていないが、研修会は、毎年、夏に一回行っており、脳科学理論に基づく五感を使った遊びや、子ども同士が関わり合う遊び等について研修している。(事務局)

Q : 校内サポートルームには、朝から下校まで、常時、支援員が配置されているのか。(教育委員)

A : 支援員は、サポートルームを利用している子どもたちに合わせて、勤務時間を組んでいるため、その時間帯は常駐している。支援員がいない時間は、学校で調整し、空いている先生や教育サポートセンターの職員等が補助している。そのため、校内サポートルームに誰もいないということはない。(事務局)

Q : 不登校の中に特別支援学級の子どもはいるのか。(教育委員)

A : 今のところ、不登校になっている子どもがいるとは聞いていない。特別支援学級は、多くても1クラス8名で、普通学級より先生方の関わりが深く、目が行き届いているためフォローができています。(事務局)

■ [教育総務課関連]

①おの幼稚園整備事業

(進捗状況)

- ・ 新幼稚園整備工事

11月14日入札落札 515,900,000円
前川建設株式会社 12月25日～令和8年1月30日

(今後の予定)

- ・12月25日の議会において、新幼稚園整備工事の契約締結の議決後、令和7年1月から工事に着手する予定である。
- ・新幼稚園整備工事については、週1回、定例工程会議を開き、進捗管理を行っていく。

②学校施設長寿命化対策事業

●旭丘中学校

(進捗状況)

- ・新校舎が完成し、現在、校内ネットワーク工事、備品搬入、カーテンの取付等を行っている。
- ・体育館建替工事設計業務の進捗率は67%で、現在、イメージパース・設備や家具の打合せを行っている。

(今後の予定)

- ・12月25日・26日、業者による引越しを行い、3学期から新校舎の供用を開始する予定である。
- ・仮設校舎については、令和7年1月から3月下旬にかけて解体する予定である。
- ・令和7年2月4日、地域の方への内覧会を兼ねたオープンスクールを行う予定で進めている。

●河合中学校

(進捗状況)

- ・11月20日、第2回河合中学校大規模改修検討委員会を開催し、PTA及び区長会等、いずれの団体からも「現在地で長寿命化工事が最適である」という意見をいただいたため、その方向で進めていきたいと考えている。

(今後の予定)

- ・令和7年1月29日、第3回河合中学校大規模改修検討委員会を開催する予定である。

③学校施設バリアフリー化整備事業

(進捗状況)

- ・市場小学校エレベーター設置工事实施設計業務は、進捗率60%で、令和7年度の工事に向けて進めている。

④学校体育館空調設備整備事業

(進捗状況)

- ・設計工事監理業務委託において、11月の入札は不調であったため、設計内容を見直し、12月16日に再度入札を行っている。

⑤教育総務課情報

1 ICT教育推進事業

○学校用NAS（ファイルサーバ）購入設置

9月25日入札落札 3,839,000円

オー ज्या商事株式会社 9月25日～令和7年1月27日

→12月2日、全校更新完了

2 学校施設工事等関係

○小野小・小野中学校空調更新工事設計業務委託

6月25日入札落札 11,550,000円

宮永建築設計事務所 6月28日～令和7年3月21日

→9月2日、打合せ（空調能力・空調機器の検討）

○小野小学校LED化工事設計・監理業務委託

5月17日入札落札 2,805,000円

藤野一級建築設計事務所 5月20日～令和7年3月25日

○小野小学校LED化工事

8月6日入札落札 9,625,000円

有限会社ハタヤ電設 8月8日～令和7年1月20日

→10月普通教室等、12月職員室等施工予定

○下東条小学校プール槽改修工事

9月26日入札落札 8,008,000円

パワーレックス株式会社 9月27日～令和7年2月28日

→令和7年1月6日、完了検査予定

○特別支援学校プールろ過機更新・市場小学校ろ材交換工事

11月27日入札落札 9,768,000円

三輪設備 12月2日～令和7年4月30日

→学校プールのろ過機は20年に一度、定期的に更新を行っており、ろ材は5年に一度、定期的に交換を行っている

■【説明事項に対する教育委員からの照会及び意見】

Q：旭丘中学校の新校舎内覧会の地域への案内は、どのように配布するのか。(教育長)

A：現在、学校で案内文を作成しており、12月の区長便で校区の方に配布する予定である。(事務局)

Q：旭丘中学校の生徒が行う引越し作業はどの程度なのか。(教育委員)

A：12月23日の終業式後、生徒が自分の机と椅子を運ぶ予定である。それ以外は、引越し業者及び先生方に運ぶ予定にしている。(事務局)

Q：河合中学校の大規模改修検討委員会では、別の角度からの意見等は出なかったのか。(教育委員)

A：河合小学校の方が、比較的、校舎が新しい。そのため「河合小学校の横に中学生が入ってはどうか」という意見があったということは聞いている。また、中学校の校舎が老朽化していることを認識していない保護者もいたが、とにかく「早く改修してほしい」という意見は多かった。(事務局)

Q：旭丘中学校の仮設校舎の解体が、令和7年3月下旬までかかるとのことであるが、グラウンド全体が使用できるようになるのはいつからか。部活動にしわ寄せがいつているのではないかと心配している。(教育委員)

A：令和7年4月から使用できるようになる。(事務局)

A：仮設校舎が建っている所で練習していた陸上部は、土曜日にアルゴで小野中学校と合同練習をしているため、特に大きな支障はなかったようである。(事務局)

A：サッカー部は、アレオで練習試合をしている。部活動については、市の施設等を上手く利用して練習しているようである。(教育長)

■【いきいき社会創造課関連】

①小野市詩歌文学賞・短歌フォーラム事業

○第17回小野市詩歌文学賞・第36回上田三四二記念「短歌フォーラム」
(進捗状況)

- ・現在、一般の部において、永田先生及び小島先生に選考していただいている。
- ・12月5日現在での投稿数は、一般の部1,012首、学生の部6,428首で、合計7,440首となっており、引き続き、投稿作品に盗作等がないか精査している。

(今後の予定)

- ・令和7年2月4日、短歌フォーラム選者会・詩歌文学賞選考委員会を開催する予定にしている。

②図書館事業～新たな図書館のあり様（将来の夢構想）～

○市立図書館システム更新事業

（進捗状況）

- ・図書館休館期間の11月19日から26日で、図書館システム機器等の更新作業が終了し、27日から本番稼働している。最初に軽微なトラブルはあったが、市民の方に影響なく、すぐに解決し、スムーズに使用できている。

③いきいき社会創造課情報

1 事業報告

〔いきいき社会創造係〕

○2025小野市成人式

第7回小野市成人式実行委員会

日時：11月18日（月）19時00分～21時00分

- ・社会貢献活動について

12月 8日（日）8時45分～12時45分

ハーフマラソンボランティア 11人

- ・式典プログラムの検討

①オープニング

②恩師のビデオレター

③Be Realムービー

④クイズ

⑤エンディング

- ・市長訪問

12月26日（木）10時00分～ 宮川実行委員長以下3名

〔図書館〕

開催日・期間	事業名	内容	参加人数
11月30日（土）	図書館託児サービス	小さな子どもを育てる保護者に安心して館内での読書や本の貸出をしてもらうため、小野託児サークル「このゆびと～まれ♪」による託児サービスを実施	4組5名

〔好古館〕

開催日・期間	事業名	内容	入館者数
11月23日（土） ～7年5月25日（日）	企画展「ザ・昭和のくらしー小野市70年のあゆみー」	小野市制70周年を記念して、関係資料や写真で小野市の70年を振り返り、	258人 ※12月1日現在

		これからの小野市の姿を 考える	
11月30日(土)	奥田家住宅特別公開	小野市指定文化財の奥田 家住宅の特別公開を実施	84人

[コミセン]

○地域づくり協議会事業

地区	開催日時・期間	事業名	内容	参加者数
おの	11月5日(火) ～11月15日(金)	第7回乗って 残そう!神戸 電鉄粟生線フ ォトコンテス ト	フォトコンテスト応募 作品をウェルカムギャ ラリーで展示	—
	11月24日(日)	2024 クリスマスコ ンサート	Sweet Bell 1、小野高校軽音楽部、 播州キッド、小野吹奏 楽団、クーリーハイハ ーモニー(プロ)	280人
かわい	11月9日(土) 10日(日)	2024 かわいフェス タ	里山ハイキング、舞台 発表、子ども縁日、模擬 店、丸太切、大抽選会 (9日) サークル、小・中・特別 支援学校、こども園、ひ まわり園、寺子屋の作 品展示(9日・10日)	2,500人
	11月23日(土)	歴史ウォーキ ング	河合地区の史跡をウォ ーキングで巡る	35人
きすみの	11月10日(日)	来住地区ソフ トバレーボー ル大会	男子、女子、トリム(男 女混合)の3部門14 チームで、各自治会対 抗戦を行う	95人
	11月16日(土)	第16回きす みの歴史探足	黍田町の史跡を巡る	44人
いちば	11月23日(土)	秋のハミング ウェイウォー キング	山田の里公園、山田川 沿いのロングコース1 2kmとショートコー	276人

			ス 8 k m をウォーキングする。吹奏楽演奏、うどんのふるまい等あり	
おおべ	11月 2日(土) 3日(日)	大部地区ふれあいのつどい	オープニング式典、演芸大会、囲碁ボール大会、模擬店、大ビンゴ大会、パトカーの乗車体験等 ※風雨が強いいため、屋外の屋台は昼過ぎに中止(2日) サークル、小・中学校、子ども園の作品展示(2日・3日)	800人
	11月 3日(日)	大部未来塾「古代米の稲刈り体験」	古代米の稲刈り体験	21人
下東条	11月 2日(土) 3日(日)	第46回下東条地区文化祭	サークル、小・中学校、こども園の作品展示(2日・3日) 芸能発表(3日)	2,000人

○コミセン自主事業

地区	開催日	事業名	内容	参加者数
おの	11月15日(金) 22日(金) 29日(金)	初級手話講座	小野市聴覚障害者協会会員を講師に迎えての手話教室。全10回開催	33人
	11月20日(水)	子ども書道教室	小学3年生から6年生を対象とした毛筆教室	7人
	11月21日(木)	脳活性・身体と心「らく楽講座」	18歳以上を対象としたパステル和アート教室、ミュージックケア	11人
	11月28日(木)	筆文字アート教室	18歳以上を対象とした筆文字基礎を習う教室	8人
かわい	11月16日(土)	子ども書道教室	小学生を対象とした硬筆と毛筆の教室	16人

	11月18日(月)	トランポ・ロビックス教室	ミニトランポリンを使って体幹や骨盤底筋を鍛える	9人
	11月1日(金) 22日(金)	自力整体教室	骨盤のズレを正し、腰やひざの痛み、肩こり等の体の不調を改善させる	19人
	11月19日(火) 26日(火)	やさしいヨガ教室	初心者向けのヨガ教室。託児付き	16人
きすみの	11月5日(火) 19日(火)	自力整体教室	骨盤のズレを正すことにより、腰やひざの痛み、肩こり等の体の不調を改善させる	15人
いちば	11月5日(火) 19日(火)	私だけの髪飾りセット	一般を対象にしたつまみ細工教室	18人
おおべ	11月15日(金)	パンとおかずのランチ教室	クリームパン、ラージハンバーグマッシュポテトのせ、白菜のスープを調理し食す	15人
	11月9日(土) 23日(土)	子ども書道教室	小学生を対象とした硬筆と毛筆の教室	26人

2 今後の予定

〔いきいき社会創造係〕

○2025小野市成人式

日 時：令和7年1月13日(月・祝) 10時00分～11時00分

場 所：うるおい交流館エクラ エクラホール

対象者：577人(12月3日現在)

〔図書館〕

開催日・期間	事業名	内容
11月27日(水) ～12月28日(土)	市制70周年記念展示	市制70周年に合わせ、小野市に関する史料や絵本、紙芝居を集めて展示する。また、過去に職員が製作した「おのふるさとすごろく」も展示し、PRする
11月27日(水) ～12月25日(水)	クリスマス展示	カウンター前に「クリスマスにおすすめの本」と「みんなでツリーを飾るコーナー」を設置。また、クリスマスの絵本

		を2冊セットにした「クリスマス絵本パック」を貸し出す
12月9日(月) ～7年1月10日(金)	中学生読書新聞展示	市内中学生が作った読書新聞約100点をエントランスホールに展示

〔好古館〕

開催日・期間	事業名	内容
7年1月11日(土) 12日(日)	新春十二単束帯着付体験	毎年恒例の新春十二単束帯の着付体験を行う(12月2日から受付開始)
7年1月25日(土) ～3月30日(日)	第14回ビッグひなまつり	好古館恒例のひなまつりを開催する。今年度は、過去最大83組702体のひな人形を展示・紹介する

〔コミセン〕

○地域づくり協議会事業

地区	開催日・期間	事業名	内容
かわい	12月27日(金)	門松づくり	コミセンかわいの玄関に飾る門松を作る
おおべ	12月6日(金)	「やさしさをみんなに届けるメッセージ」選考	大部地区を中心に子どもから大人まで心に残るメッセージを募集・選考・表彰
下東条	12月15日(日)	親子「防災パッキング」	災害時の非常食(湯煎によるポリ袋でカレーライス作り)

○コミセン自主事業

地区	開催日	事業名	内容
おの	12月6日(金) 13日(金)	初級手話講座	小野市聴覚障害者協会会員を講師に迎えての手話教室。全10回開催
	12月4日(水)	子ども書道教室	小学3年生から6年生を対象とした毛筆教室
	12月5日(木) 19日(木)	脳活性・身体と心「らく楽講座」	18歳以上を対象としたパステル和アート教室、ミュージックケア
	12月12日(木)	筆文字アート教室	18歳以上を対象とした筆文字基礎を習う教室
かわい	12月2日(月) 16日(月)	トランポ・ロビックス教室	ミニトランポリンを使って体幹や骨盤底筋を鍛える
	12月3日(火)	やさしいヨガ教室	初心者向けのヨガ教室。託児付き

	10日(火)		
	12月7日(土) 21日(土)	子ども書道教室	小学生を対象とした硬筆と毛筆の教室
きすみの	12月17日(火)	ブージーアミ	ろうで書いた文字に色付けするアートを作成する
いちば	12月3日(火)	私だけの髪飾りセット	一般を対象にしたつまみ細工教室
おおべ	12月7日(土) 21日(土)	子ども書道教室	小学生を対象とした硬筆と毛筆の教室
	12月13日(金)	あったか交流会	「外国人にやさしいまちづくり」を目指した集大成として、大部地区区長会を中心にした地域住民と地域外国人との交流会
	12月15日(日)	おとなの寺子屋 (歴史バージョン)	「おのの神さまを考える」 「地域を守り続ける鎮守の森」 講師：西田猛さん(元好古館副館長)
	12月20日(金)	パンとおかずのランチ教室	フランスパン、ラージハンバーグマッシュポテトのせ、白菜のスープ 講師：金井智子さん(コミセンおおべサークル講師)

■【説明事項に対する教育委員からの照会及び意見】

Q：新春十二単束帯着付体験では、男性が十二単を着てもよいのか。(教育長)

A：着てもよい。(事務局)

A：昔、私の子どもは、男の子だが十二単を着たことがある。(教育委員)

A：私も何度か参加したことがあるが、アクセサリーも用意してあったり、折り紙等も置いてあったりするため、待っている方も楽しめるよう工夫されている。(教育委員)

Q：先日、好古館に行った際、柳風亭をバックにした紅葉がとても見事で綺麗であった。そういったことも発信してはどうかと思った。(教育委員)

A：市のTikTokで発信し、紹介している。(事務局)

■【スポーツ振興課関連】

①学校保健体育事業の推進

(今後の予定)

- ・12月、中学校は柔軟性(長座体前屈)測定、小学校は柔軟性(長座体前屈)

測定となわとび検定を行う予定にしている。

- ・令和7年2月に、第2回ひまわりカードを実施する予定である。

②第11回小野ハーフマラソン2024

(進捗状況)

- ・12月8日、第11回小野ハーフマラソン2024を開催した。今回は、バスを3台増車し、計28台体制としたことにより、スタートに遅れるランナーもなく、多くのボランティアスタッフや市職員等の協力のもと、大きな事故もなく安全に終えることができた。
- ・ハーフの部（一般男子）、ハーフの部（一般女子）、5kmの部（一般男子）で、大会新記録が出ている。

(大会結果) ※別紙詳細

申込区分		申込者 (人)	出走者 (人)	完走者 (人)	完走率 (%)
ハーフの部	一般男子	3,354	2,989	2,933	98.1
	一般女子	965	870	835	96.0
5kmの部	一般男子	395	357	356	99.7
	一般女子	400	335	333	99.4
1.5kmの部	小学4～6年	203	189	189	100.0
	小学1～3年	233	215	215	100.0
合計		5,550	4,955	4,861	98.1

③スポーツ振興課情報

1 社会体育

○第11回小野ハーフマラソン2024

日時：12月8日（日）9時30分～

場所：大池総合公園、うるおい交流館エクラ、小野市域

主催：小野ハーフマラソン2024実行委員会

2 今後の予定

○第2回ひまわりカード朝食摂取率調査

期間：令和7年2月3日（月）～7日（金）

対象：市内保育所（園）の4・5歳児、幼稚園

小・中・特別支援学校の児童生徒

内容：「ひまわりカード」を活用した朝食摂取率調査の実施

■【説明事項に対する教育委員からの照会及び意見】

Q：小野ハーフマラソンで、河合運動広場の駐車場に車を停めていた方から、帰りのシャトルバスが来るのが遅かったと聞いているが、どうなのか。（教育委員）

A：午後、雨が降ったため、帰られる方がシャトルバス乗り場に集中した。そのため、河合運動広場行きのバスに行列ができ、遅くなってしまった。（事務局）

4 協議事項

○「第Ⅳ期 小野市教育振興計画（案）」について（学校教育課）※別紙詳細

【基本理念】

夢や希望に向かい
豊かな心と生きる力を育む
自立して未来を創造する人づくり

【重点施策】

- ①脳を鍛え、心と学力を育む「おの検定」
- ②「小中一貫教育」と「16か年教育」の推進
- ③教育環境整備と小野市型学力向上

【主な追加項目】

●活力ある人材を育てるための教育の充実

- ・チーム担任制（学年担任制）の導入
- ・小野市型ICT教育の深化（アナログとデジタルの融合）
- ・脱スマホプログラム（依存性が高いスマートフォンと向き合う力を育てる）
- ・「非認知能力」の育成（自己肯定感、自尊感情の醸成）

●安心して学べる教育を支える環境整備

- ・エレベーターやインターフォン等の合理的配慮の提供及び体育館の空調設備
- ・ミドルリーダーの育成による学校マネジメントの充実
- ・脳科学の知見を活用した家庭教育の支援

■【教育委員からの照会及び意見】

Q：チーム担任制を導入すると、先生同士で共有しなければならないことが多くなると思うが、時間的に大丈夫なのか。また、授業のやり方等も、先生によって違うと思うが、ある程度揃えたりしないといけないのではないのか。（教育委員）

A：例えば、2クラスの学年であれば、3人でチーム担任制を行う。1人の先生が国語の先生であれば、その学年の2クラスの国語を担当し、もう1人の先生が算数の先生であれば、その学年の2クラスの算数を担当する。つまり、授業は教科担任制で行うため、教科の引継ぎは必要ない。チーム担任制の担任は、極端な話を言えば、朝の会・給食・掃除・終わりの会を見るのみとなる。どちらかというところ中学校の担任と同じようなイメージである。（事務局）

A：チーム担任制を導入すれば、新型コロナウイルス感染症発生時のような緊急事態や、担任の先生が休んだ場合でも、学級が混乱したり滞ったりしないという利

点はある。しかしながら、児童生徒の体調の申し送り等において、伝達漏れが発生する可能性もある。また、先生の中には、担任を持つことに醍醐味を感じている。現場の先生方の意見を十分に反映したうえで、取り組まないと、情報共有も上手くできない可能性が出てくると考えている。(教育長)

Q：「学年担任制・教科担任制・40分授業午前5時間制」を導入しているのは、川西市では、多田小学校1校だけなのか。(教育委員)

A：2023年11月から多田小学校で導入し、ある程度の成果が見えてきたため、今年度、川西市教育委員会が、実験的にもう1校導入している。(事務局)

A：40分授業の導入については、特に注意が必要である。5分短縮といえど、されど5分である。その5分で、躓いている子どもに対する復習をしたり、その授業のまとめをしたりすることができる。短縮授業も、一つ間違えると学力低下を招く可能性がある。また、短縮授業によって生まれる時間の使い方についても、年間や月間計画を立てていかなければならない。12月23日に行う多田小学校の視察では、「学力はどうか」「子どもたちはノートをどのようにとっているのか」等、突っ込んだ質問もしてほしい。(教育長)

Q：そもそも「学年担任制・教科担任制・40分授業午前5時間制」を導入しようと検討している要因は何か。(教育委員)

A：担任を持ちたいと思っている先生がいる反面、学級担任が負担だという理由で、担任を避けたり、辞職したりする若手の先生も増えていることが、チーム担任制を検討している理由の一つである。そういった現状を踏まえると、チーム担任制にすることで、若手の先生の力をさらに伸ばせるのではないかと考えている。また、40分授業を検討している要因の一つとして、45分授業で集中力が続かない子どもたちが増えている事実がある。そういったことも含め、これからは、メリハリのある教育課程というものを、管理職の先生方と考えていく必要があると思っている。もちろん、メリットもあればデメリットもあるため、情報を共有しながら、検討していきたいと考えている。(事務局)

○部活動の地域移行について（スポーツ振興課）※別紙詳細

11月29日、令和6年度「第2回小野市部活動地域移行の在り方検討委員会」を開催し、地域団体（各種目のスポーツ協会・スポーツクラブ21・スポーツ少年団）、中学校教職員、中学生及び保護者のアンケート結果を踏まえ、「生徒・保護者の思い」「地域団体の受け皿の少なさ」「教職員の意向や負担軽減」を考慮したうえで、今後の方向性を決定した。

【決定事項】

- ①令和9年度の新チーム（7・8年生）より、拠点校方式に移行する
- ②顧問は、指導を希望する教員と部活動指導員が務める（複数体制）
- ③今後の小野市部活動地域移行について、4月頃に新聞発表を行い、市民へ周知する

■【教育委員からの照会及び意見】

Q：部活動をやりたい先生の中に若手の先生はいるのか。(教育委員)

A：若手ベテランを問わず、やりたい先生はいる。(事務局)

Q：指導を希望しない先生は、何にも携わらないのか。(教育委員)

A：平日の自主練習の見守り等は、調整して参加してもらう予定にしている。(事務局)

Q：保護者の負担としては、送迎と金銭面の問題があるが、金銭についてはどれくらいを予定しているのか。(教育委員)

A：まだ詳細の試算はしていないが、保険代の負担等、1,000円から2,000円程度が限度ではないかと考えている。(事務局)

A：金銭面については、学校によって集金方法等は違うかもしれないが、現在も部活動費として、月100円程度集金し、各部の交通費(遠征費)や消耗品費として活用している。(教育長)

Q：令和9年度の夏以降に、拠点校方式に移行するとのことであるが、中学生になって部活動を始めたばかりの子どもたちが、どこまで理解できるのかが不安である。(教育委員)

A：移行時に部活動を辞めてしまう子どもが出てくるかもしれないため、保護者も含め子どもたちにも、拠点校方式に移行することを早く告知しておくことと、すべての子どもたちが拠点校チームに行くとは限らないため、同好会的な受け皿を増やしておくことが必要である。(事務局)

Q：希望する部活動が重なった場合、希望しない部活動の担当になった先生の手当やフォローはどうするのか。(教育委員)

A：拠点校方式に移行するまでの間に、そういった課題を検討していかなければならないと考える。(教育長)

5 次回定例教育委員会予定

令和7年1月21日(火) 13時30分～ 4階会議室4-1

6 閉会あいさつ 教育長